

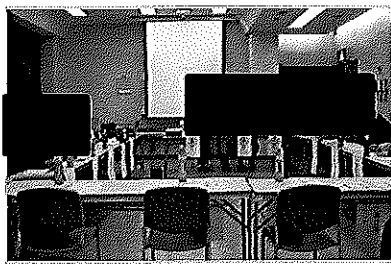
## 8 地域との協力(様式15)

### (1) 鶴見区のスポーツ振興のための地域支援

～地域に根ざした運営者こそ、鶴見区のスポーツ振興をもたらします～

私たちは鶴見スポーツセンターの開設当初から、区内のスポーツ団体支援や各地区で年間 30 回以上の派遣プログラムを実施し、地域スポーツ活性化へのニーズを直接伺っています。また、第 2 期指定管理で取り組んだオープンミーティングでも、地域の方々から多様な意見をいただきました。

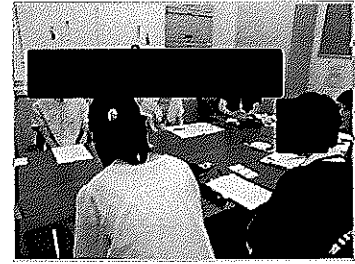
施設の管理運営だけでなく、私たちは鶴見区のスポーツ振興を担う指定管理者として、第 3 期指定管理においても鶴見区民やスポーツ主体とのコミュニケーションを惜しまず、地域に根ざした運営者として勤めていきます。



オープンミーティングの様子(H27.3月)



鶴見区体育協会総会への出席



リハビリスポーツ地域推進連絡会への出席

### ア 地域で子どもを支える取組 拡充

工場跡地などに大規模マンションの建設が進む鶴見区は、20 歳代から 40 歳代のいわゆる「子育て世代」を中心に転入者が増え、0～14 歳の年少人口も増加傾向です。地域において人と人とのつながりが希薄化し、子どもが大人世代とふれあう機会も減少しています。

私たちは、区民利用施設として子どもの育ちを理解し、“支える”取組を積極的に行い、鶴見の子どもたちが健やかに暮らせる地域づくりを担います。

#### (ア) 次世代育成支援

##### 託児サービス等による子育て世代への支援【再掲】

教室の参加者を対象とした託児サービス（一時保育）を拡充するほか、横浜市の子育て家庭応援事業「ハマハグ」の協賛認定施設として、子育て支援サービスの充実を図ります。

また、キッズルームを親と子、そして子育て世代の交流の場となるよう「ママカフェ」として開放します。

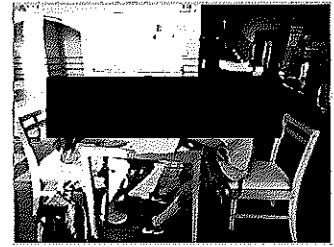


託児サービス

## 子どもが安心して過ごせる居場所づくり

ロビーやキッズルームを開放し、子どもたちが集まり、安心して過ごせる居場所を作ります。子どもたちは、宿題をしたり、スポーツや文化プログラムで楽しんだり、多世代交流を深めます。

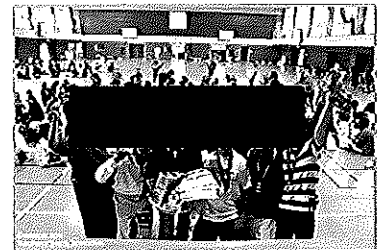
また、学校長期休業期間には学童保育、はまっこふれあいスクールなどに働きかけ、プログラムや場所提供などの相談窓口を設けます。



運動の後ロビーで勉強をする子どもたち

## 新規 多文化共生の街、鶴見ならではの国際交流イベントの開催

外国人居住者の多い鶴見区において、青少年が多文化共生を理解し、多様な視点を持ったグローバル人材へ成長できるように、スポーツを通じた国際交流イベントを開催します。開催にあたっては、鶴見区の鶴見国際交流ラウンジと協力して実施します。



県立横浜国際高校で行われたアジアスポーツフェスタ 2014

## (イ) 子どもの体力向上への取組

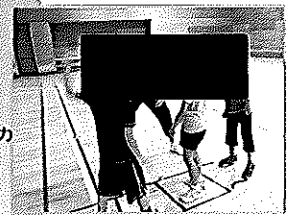
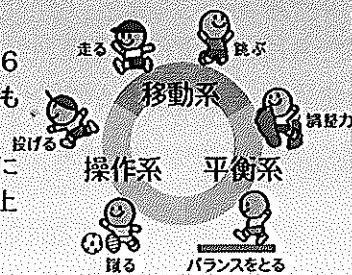
横浜市は、横浜市スポーツ推進計画において「子どもの体力向上事業の実施及び拡充」を掲げています。私たち体育協会は、スポーツセンターで開催する子ども対象教室のほかに、小学校や保育園において子どもの体力向上事業を積極的に行います。

## 教室プログラムでの多彩な取組【再掲】

子どもの体力向上に資するプログラムを各年代や目的に合わせて開催します。第2期指定管理期間において人気教室となった跳び箱やマットなどの「子どもの運動苦手克服教室」を実施する他、「アシックス」による「キッズスポーツチャレンジ」を開催します。

### ■キッズスポーツチャレンジ(アシックス)

お子さまの運動能力を的確に判断するために、6種類の測定を実施。全国1万人以上の測定値をもとに、運動能力レベルを分析します。自分の得意な分野を見つけることは、子どもたちにとって、運動のモチベーションを高め、体力を向上させる大切なきっかけとなります。



ラダーをつかったプログラム

## 幼児期からの子どもの体力向上への取組

当体育協会では、保育園への訪問プログラムを実施しています。遊びを通して幼児期に多様な動きを身に付けるとともに、生涯にわたって運動を楽しむための基礎的な力を発達させます。また、幼児期における運動習慣の



保育園訪問プログラム(鶴見保育園)

啓発や保育園における継続的な運動・スポーツの実施を図るため、「保育士向け運動指導研修」を開催します。

## 小学校における『いきいきキッズ事業』の展開

私たちは、学校・家庭・地域と協力をしながら、児童が関心を持てる運動やスポーツを「中休み」や「放課後」の時間に紹介・実施する「いきいきキッズ事業」を、小学校を中心に展開します。児童が定期的に運動に親しむ機会を設けることで、主体的・日常的に体を動かし適切な運動習慣を身につける一助となります。

### ■第2期指定管理期間に訪問した学校

学校名	延参加児童数
市場小、末吉小、下末吉小、上末吉小、汐入小 潮田小、旭小、駒岡小、上寺尾小	3,685名

#### ～学校保健委員会への支援～

汐入小学校など鶴見区内の「学校保健委員会」へ出席し、小学4年生以上の委員会委員児童と教職員、PTAに、健康と運動の必要性について講義と実技を行っています。運動の必要性をレクチャーし、児童の主体的な活動を促すために、今後も支援していきます。



汐入小学校での啓発講座

## イ 障がい児・者へのスポーツ支援

### (ア) 教室やイベントでの交流促進

鶴見スポーツセンターでは、鶴見区・神奈川区内の障がい児・者団体の方々による新春福祉餅つき大会（横浜労働福祉協議会東部支部と横浜東部地区連合主催）が毎年開催されています。

私たちは、来賓をはじめ毎年500人以上の方が集まるこの催し物に、会場提供のほか大会の円滑な運営に協力しています。第3期指定管理においても、当体育協会が主催する教室やイベント、そして関係団体の催し物に協力し、健常者との交流の場を設けることで、健常者の障がい児・者への理解の促進を図ります。



新春福祉もちつき大会

### リハビリスポーツ体験会への協力

ボッチャの体験と、参加者同士の交流を深めることを目的として開催されるリハビリスポーツ体験会の運営協力をします。自主グループ同士や中途障害者支援センター、地域で暮らす中途障がい者の情報共有の場にもなり、スポーツを通して成功体験による自信・意欲の獲得や、社会参加機会の拡大を図るために開催します。



ボッチャ大会

## リハビリスポーツ地域推進連絡会の出席

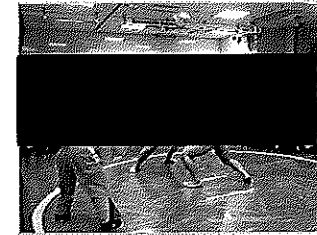
中途障がい者（脳血管疾患）スポーツ支援に携わる関係機関で情報の共有を行い連携を図るという区の呼びかけに応え、区役所、横浜市リハビリテーション事業団横浜ラポール、鶴見区社会福祉協議会、中途障害者地域活動センターなどが集まる「リハビリスポーツ地域推進連絡会」に参加し、各機関の役割を認識することで、活動の展開方策や今後の支援についての話し合いを行います。



スポーツセンターの見学

## 特別支援学校訪問でのトップアスリートとの交流

障がいのある子どもたちに、スポーツを通じて元気を届け、子ども達の「夢（目標）」をはぐくみ、スポーツへの興味・関心を高め、体力の向上を図ることを目的に、横浜子どもスポーツ基金の助成を受けてイベントを実施します。



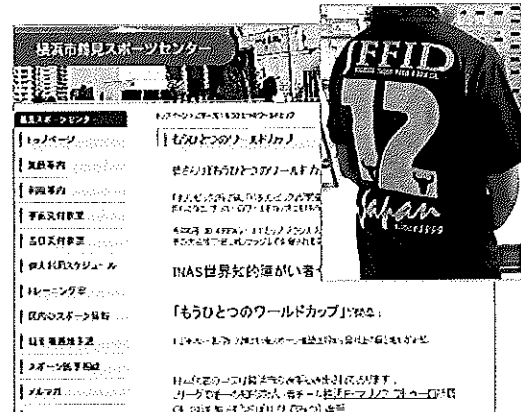
大相撲教室

平成27年6月には、大相撲の力士（八角親方<元横綱・北勝海>、隠岐の海<関脇>、と一緒に触れ合い、運動ができる機会を設けるために開催しました。第3期指定管理においても、交流の機会を積極的に設けていきます。

## (イ) 障がい児・者スポーツへの協力

障がい児・者団体が行うスポーツ活動に積極的に協力をします。

第2期指定管理期間では、知的障害者サッカーW杯に出場する選手を支援するため、当館ホームページで関連記事を掲載した他、チャリティTシャツの購入やスポーツセンターでの販売に協力しました。



## ウ 高齢者の生きがいつくり資するスポーツプログラム

私たちは、鶴見スポーツセンターが高齢者の生きがいつくりの場となるよう積極的に取り組んでおり、平成26年度の鶴見スポーツセンター定期教室では、年間11,600人以上の高齢者にご参加いただいています。

第3期指定管理期間に実施する45種の教室の中で、高齢者対象が6教室で展開します。

また、経験豊かなシニア世代の方に、受付等のスタッフやスポーツ・文化教室の講師として採用するなど、多くのシニア人材に活躍していただきます。



鶴見スポーツセンター教室講師のみなさん

## エ ウォーキングを活用した地域の健康づくり

横浜市では、「健康寿命日本一のまち」を掲げ、「よこはまウォーキングポイント事業」を導入しており、市民の健康づくりにウォーキングは欠かすことのできない運動となっています。

私たちは、鶴見区が推進する「ヘルスアッププラン」の一角にウォーキングへの取組を意味づけ、地元の魅力発信、鶴見区への集客、地域の健康づくりを推進します。



三ツ池公園ウォーキング講座

### ウォーキングリーダーの養成

私たち体育協会は、ウォーキングによる地域での健康づくり推進のために、スポーツ医科学や運動生理学などに基づいたウォーキング指導ができるリーダーを養成します。地域指導者の質的向上に努めることで、地域からの健康づくりに関する講演や指導依頼、指導者の紹介依頼に積極的に協力します。

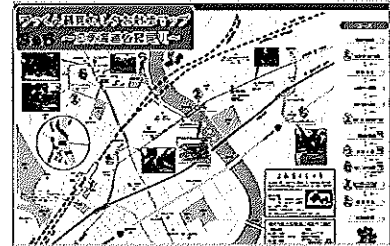


所長が講師を務めた  
ウォーキングリーダーの養成

### ワックン鶴見カルタお散歩ウォーキングの実施

新規

ヘルスアッププランを受けて私たち体育協会は、「ワックン鶴見カルタお散歩ウォーキング」を実施します。多くの区民に鶴見の魅力再発見の機会として親しんでいただけるように、「地域を散歩」という視点を踏まえて、気軽に参加できるように進めます。



「ワックン鶴見カルタお散歩マップ」

#### ■その他のウォーキングプログラム

名称	実施時期	内容
楽しいウォーキング教室	年1回以上	はじめに健康チェック、歩行姿勢の測定をした後、正しいウォーキングの方法や効果等について学びます。教室の最終回では効果測定も行います。
防災・防犯ウォーキングの実施	年1回以上	災害時の訓練、子どもたちの登・下校時の見守りや夜間における防犯対策を目的とした防災・防犯ウォーキングを地域と連携して実施します。 このウォーキングイベントを通じて、多世代の地域住民が交流することで、地域住民のふれあい、コミュニケーションの促進を目指します。

## オ 地域指導者の養成と育成

当体育協会が主催する「横浜市スポーツ・レクリエーション人材養成講座」や人材活用システム登録者への研修会では、当体育協会の専門的知識を有する資格者が実技及び講義を行います。その他、鶴見スポーツ

#### 【横浜市スポーツ・レクリエーション人材養成講座】

- スポーツリーダー講習会
  - 健康体づくりインストラクター養成講座
  - 地域クラブ・アシスタントマネージャー養成講座
  - アウトドアリーダー講座
- など

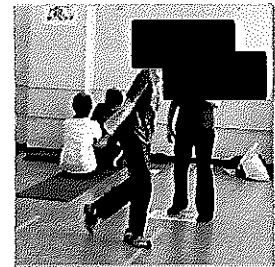
センター主催教室で地域人材を積極的に活用するとともに、人材養成講座修了者や養成中の指導者を当館主催教室の指導者として活用するなど、実践研修の場を設けます。

また、近年ウォーキング人口が増加していることから、スポーツ医科学・運動生理学などに基づいたウォーキング指導ができるリーダーを養成します。

このような地域指導者の質的向上に努めるため、地域からの健康づくりに関する講演や講師依頼、人材の紹介依頼に積極的に協力します。

### 鶴見区内 14 人の地域指導者のみなさん

当体育協会は地域からの幅広い運動・スポーツ指導に対応していくために「横浜市人材活用システム」を管理運営しています。鶴見区では14人の登録があり、第3期指定管理においても、スポーツセンターの教室事業だけでなく、地域ケアプラザへの体力測定や小学校でのレクリエーション指導で登用します。



体力測定員として活動する登録者

## (2) 地域連携の取組

私たち体育協会は、地域における課題や特性を理解し、鶴見区役所地域振興課や福祉保健センターと調整を図りながら、区民、自治会、町内会、区体育協会、スポーツ推進委員連絡協議会、青少年指導員連絡協議会、子ども会連絡協議会、老人クラブ連合会、保健活動推進員、食生活等改善推進員、その他関係団体と協働した取組を推進することで、鶴見区の地域におけるスポーツ振興事業の促進、支援を行います。

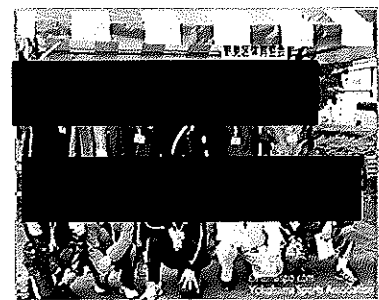
### ア 地域団体等との協力・連携によるスポーツ振興

#### (ア) 鶴見区体育協会との連携

私たちは、鶴見区体育協会主催の地域貢献事業への企画運営協力、総会や各部会会議に出席し、助言や情報共有等を行うなど、運営を支援しています。

また、年に1回屋内利用団体と打合せを実施し、各団体からの要望や情報交換をすることで、大会運営のアドバイスをしたり、大会参加者からのご意見を施設運営に反映させています。

第3期指定管理においても、鶴見区のスポーツ振興における強力なパートナーとして、同体育協会への運営支援を継続し、区民の多種多様なスポーツ活動の要望に応えていきます。



24の競技団体が加盟する  
鶴見区体育協会

#### 区体育協会事務局スペース配置への協力

現在、鶴見スポーツセンター内に設置されている鶴見区体育協会の事務局については、第3期指定管理においても覚書を締結し、設置協力をします。また、賛助会員としての協力や事務作業へのアドバイスなどの運営支援を行います。

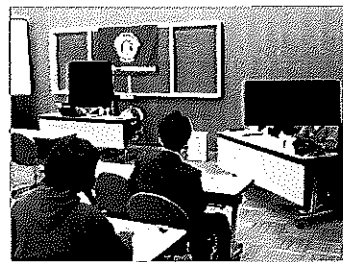


区体育協会屋内利用団体との話し合い

## (イ) 鶴見区スポーツ推進委員連絡協議会との連携

鶴見区スポーツ推進委員連絡協議会は、スポーツを中心とした幅広い事業を実施しており、各地域で欠かせない存在です。当体育協会では、第2期指定管理において、連絡協議会が開催した研修会への協力や三ツ池フェスティバルでの事業協力などで相互連携を図ってきました。

第3期指定管理においても、地域に精通する委員の方々と協力して区のスポーツ振興を図ります。

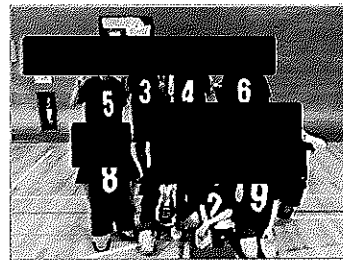


研修会で講師を務める所長

## (ウ) 鶴見区子ども会育成会連絡協議会との連携

子どもの健やかな成長を願う取り組みに、スポーツセンターもスポーツ・運動を通じて協働し、子どもたちの自主的なスポーツ活動の推進を図ります。

また、子どもたちが健やかに、心豊かに育つ地域づくりを進めていくことを目的に、鶴見区内で子育て支援や青少年育成に携わる団体と協働で、親子で楽しめるイベントや講演会を開催します。



はまキッズドッチボール大会  
運営協力

## (エ) 鶴見区老人クラブ連合会との連携

超高齢社会における、地域社会の活力の低下や、単身世帯の増加に伴う高齢者の孤立化の問題が混在化しつつあります。このような中で、高齢者がスポーツやレクリエーション、健康づくり事業に身近に参加することで、運動を通じて健康で生きがいのある日常を実現できるよう協働し、高齢者の自主的なスポーツ活動の推進を図ります。



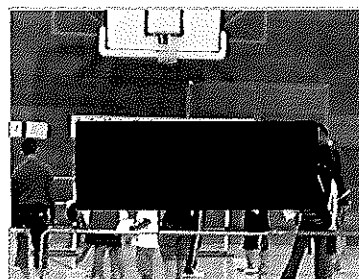
シニア大学で講師を務める所長  
(会場: 寺尾センター)

## (オ) 鶴見区さわやかスポーツ普及委員会との協力・連携

ヨコハマさわやかスポーツは「いつでも・どこでも・だれにでも」楽しめるよう、ニュースポーツを使った地域ぐるみのスポーツ推進活動として昭和62年に始まりました。

私たち体育協会は、鶴見区さわやかスポーツ普及委員会とともに27年間、地区活動や大会を支援してまいりました。

今後も、子どもから高齢者、障がい児・者の方へスポーツの楽しさを伝えるために、普及委員とともに、さわやかスポーツを推進していきます。



スポーツ・レクリエーションフェスティバル  
でご協力いただきました!

## 鶴見区で盛んな「ポッチャ」は障がい児・者との交流ツール！

鶴見区さわやかスポーツ普及委員会は、障がいの有無に関係なく、どなたでも参加できるポッチャ体験会を実施しています。私たちは、地域の愛好者と障がいのある方の友好の場としての運営サポートを行います。

次の地域ケアプラザで実施します

潮田、駒岡、東寺尾、鶴見市場 馬場、寺尾

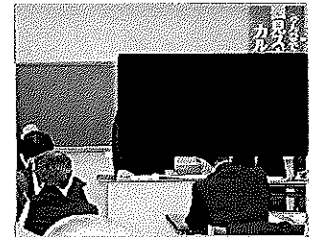


馬場地域ケアプラザでのポッチャ体験会

## (カ) 総合型地域スポーツクラブの支援

クラブの地域活動・イベントにおいて、広報支援やプログラム提供をするなど、運営に積極的に協力をします。

今後もクラブが地域に根ざし、安定的に活動できるよう、スポーツ振興のパートナーとして、クラブの発展をサポートします。



鶴見スポーツ&カルチャークラブ総会

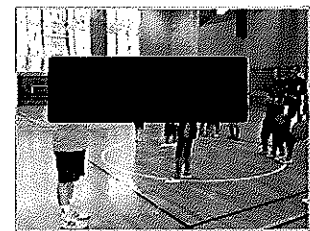
### ■ サポートしている鶴見区内のクラブ

クラブ名	概要
鶴見スポーツ&カルチャークラブ (拠点:上末吉・駒岡地区)	・H23.3.27.設立 ・活動 グラウンドゴルフ、ポッチャ、太極拳 等
KAZU SPORTS CLUB (拠点:下末吉・市場地区)	・設立準備団体 ・活動 フットサル・ヨガ・スポーツボランティア 等 ・スポーツセンター主催のスポーツレクリエーションフェスティバルにて啓発事業実施

## (キ) 地区センターと連携した教室等の開催

鶴見スポーツセンターから遠い地域にお住いの区民で、当館に足を運べない方々のために、鶴見区内の駒岡・末吉・寺尾・潮田地区センターで連携事業を行いました。

第3期指定管理においても、連携事業実施の了承が得られた地区センターにて、健康づくり教室やスポーツセンター出張教室を拡大していきます。



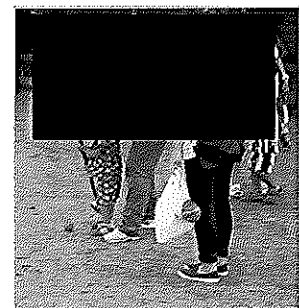
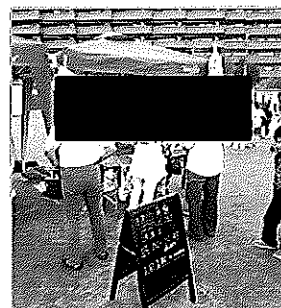
潮田地区センターでのミニバスケット教室

## (ク) 自治会・町内会との協力・連携

拡充

地元の事業者として、自治会、町内会に加入するとともに、更なる連携を深め、地域の活性化・健康づくりに貢献します。

自治会、町内会単位での介護予防や認知症予防の体操教室、ウォーキング教室、体力測定の実施など、地域の要



オール市場主催「ゆうづるまつり」への協力

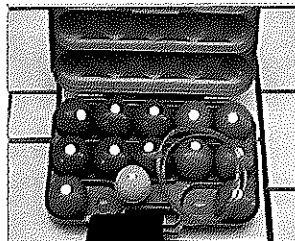


望に応じた支援をし、地域の方々のスポーツ・運動のきっかけづくりを行います。

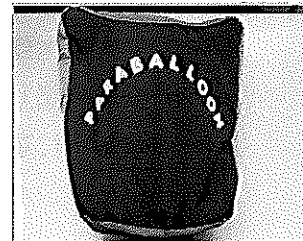
実施にあたっては、地域の保健活動推進員、自治会、町内会関係者、介護予防サポーター、地域包括支援センター職員と協力することで、スポーツセンターに来館しづらい遠方の地域の方々も支援し、一人でも多くの区民が運動・スポーツに親しんでいただけるようにします。

### 地域へのスポーツ用具の無料貸出

自治会、町内会や地域での運動会、体力測定などのイベントの際に、教室で使用する鉄棒、跳び箱などの体育用品やさわやかスポーツの用具を、要望に応じて無料で貸出します。



さわやかスポーツ用具



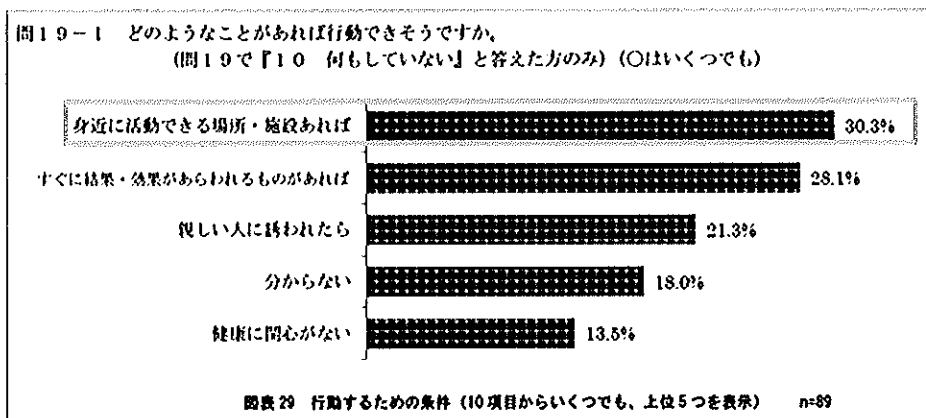
体育用品(パラバルーン)

## イ 鶴見区の健康づくりを推進する取組

私たちは、鶴見スポーツセンター第3期指定管理のコンセプトを「スポーツと健康づくりを通して鶴見区全域に笑顔と元気の輪が広がるスポーツセンター」としました。

これは、私たちが鶴見区のスポーツ振興に携わる中で、28万人の区民に向けて一層のスポーツ振興・健康づくり推進を実現するためには、スポーツセンター単体にとどまった活動だけでは不十分だと実感しているからです。

鶴見区民の健康増進のために、私たちは各地区の多様な主体と協働し、身近な場所でスポーツ・健康づくりに親しめる環境を整えていきます。



平成24年度鶴見区民意識調査「7. 健康意識・ひざ痛の予防について」抜粋

### 地域における健康づくりに関する講演・派遣事業の拡充

当体育協会の健康プログラム等派遣事業は、健康ニーズの高まりにより、区内公共施設等からの講演・指導依頼が増えています。

私たちは、体力向上や生活習慣病・介護予防、救命救急(AED操作含む)研修等の派遣事業を実施するほか、このニーズに応えるために、当体育協会の人材活用システムに登録する地域人材の紹介を行います。



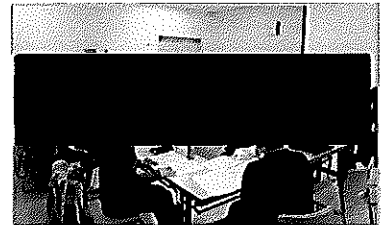
子育て支援 親子体操イベント

■平成26年度派遣指導実績

主な事業名称
鶴見区リハビリ教室・横浜シニア大学(健康講座)・スポーツ推進委員ハムトレ研修・保健活動推進員ウォーキング講座・食生活等改善推進員はまちゃん体操講座・はまキッズドッチボール大会審判・尿漏れ講座・体力向上プログラム・健康体操・高齢者健康体操・子育て支援 など30件

【(ア)「ヘルスアッププラン」参画による健康づくり推進

区民の健康増進を図ろうという区の呼びかけに応え、鶴見区や医師会、歯科医師会などが集まる「健康づくり推進会議」に参加し、関係団体や民間企業と一緒に課題解決に取り組みます。第3期指定管理において、ウォーキングの取組を中心として事業協力を行っています。



所長が参加する  
鶴見区健康づくり推進会議

健康・ウォーキング講座

鶴見福祉保健センター福祉保健課健康づくり係より委託を受けて、「働き・子育て世代(成人期)」である20歳代～50歳代向けに、ウォーキングの講義とフォームチェック講座を開催しています。講座では、私たち体育協会が開発した画像解析技術により、参加者の効果的なウォーキングを支援しています。



ウォーキングの基礎(講義)と  
フォームチェック・実技指導講座

第3期指定管理においても、付加価値の高いプログラムを取り入れ、区民の健康意識を高めていきます。

H26・27年度 実施会場

鶴見区役所、駒岡地域ケアプラザ、寺尾センター、矢向地域ケアプラザ、生麦地域ケアプラザ、潮田地域ケアプラザ、鶴見市場地域ケアプラザ

【(イ) 鶴見区内公共施設との事業協力

鶴見スポーツセンターは、高齢者対象の事業を積極的に実施していますが、当館に足を運んだことがない遠い地区にお住まいの高齢者も多くいます。



市場地域ケアプラザでの  
ロコモ予防講座

特に潮見橋地区や潮田中央地区では、高齢化率が21%を超えて上昇していることから、鶴見区内の地域に拠点がある地域ケアプラザと連携・協力し、高齢者のための体力向上プログラムを実施することで、高齢者の運動機会の創出につなげます。

「元気づくりステーション」設立支援

私たちは、高齢者の不活発な生活による心身の機能の低下(生活不活発病)を予防するために、鶴見福祉保健センター高齢・障害支援課や地域包括支援センターと連携・協力し、介護予防に向けた体力向上プログラムを実施します。



「てらお介護予防ワーキング」  
でのマップづくり

また、鶴見区内の各所で自主的な健康づくり活動が取り組まれるよう、横浜市が進める「元気づくりステーション」の設立をサポートします。

### 鶴見区中途障害者地域活動センター事業への協力

鶴見区中途障害者地域活動センター主催の脳血管疾患等リハビリ教室に指導等で協力します。また、利用促進のための施設見学とニュースポーツの体験会も行います。



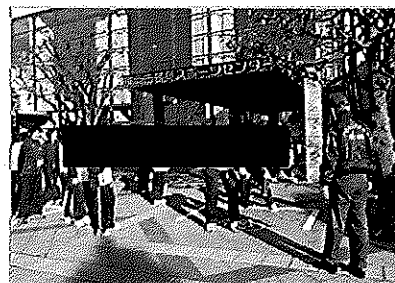
リハビリ教室での準備体操

## ウ 地域との連携による防災・防犯への取組

### (ア) 鶴見消防署と連携した防災訓練の実施

平成 24 年度の鶴見区民意識調査では、地区の防災活動に参加したことの無い人の割合が 71.6%にも及んでいます。東日本大震災の教訓から、地震発生直後は、自らの安全確保などの自助から始まり、避難場所や地域防災拠点での共助につながっていきます。

私たちは、鶴見消防署と連携し、初期消火、避難訓練、救急法講座の開催など、お客様、教室講師を含めた合同防災訓練を行い、住民個々の減災行動を啓発していきます。



初期消火訓練(協力:鶴見消防署)

### (イ) 防災・防犯ウォーキングの実施【再掲】

ふだん何気なく歩いている街を防災・防犯という視点から再発見する「防災・防犯ウォーキング」を実施します。このイベントは、災害時の訓練だけでなく、子どもたちの登・下校時の見守りや夜間における防犯対策も目的とします。



鶴見川を歩く防災・防犯ウォーキング

### スポーツセンター防災運動会

「いざ」という時のために、地域の防災関係者と密接な関係を築いていくことが大切です。そこで、「防災」をキーワードに地域の様々な人々と出会い、防災を身近に感じ、楽しく学ぶ機会として、防災運動会を開催します。

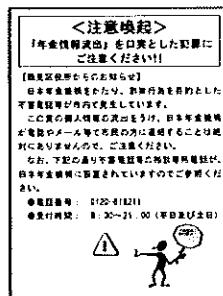
自主防災組織の活性化、および地域の防災力の向上を目的とした地域防災ネットワーク活動を行うことにより、多世代の参加者が交流することで、地域住民のふれあい、コミュニケーションの促進につなげます。

### (ウ) 鶴見警察署と連携した啓発事業の実施

鶴見区民は、区の将来像に「治安がよい、安心して暮らせるまち」を望んでいます(平成 24 年度区民意識調査より)。当館周辺には働き盛り世代の家庭が多くなり、子どもの数も増えていることから、私たちは「子ども 110 番の家」等の緊急拠点として活

用してもらえるようにしていきます。自治会、町内会等がパトロールする時は、進んでこれに参加します。

また、鶴見区の防災情報メールを毎日受信し、当館近隣において発生した事件などを掲示し、お客様に注意を呼びかけます。



振り込め詐欺啓発ポスター

### 「振り込め詐欺防止」啓発

私たちは、第2期指定管理において、鶴見警察署の協力のもと「振り込め詐欺防止講座」を開催しました。第3期指定管理においても、反社会的団体の活動撲滅に向けて、鶴見警察署の協力のもと、取り組んでいきます。



振り込め詐欺防止講座

## エ 横浜市及び鶴見区と連携・協力した事業

私たちは、第2期指定管理者として鶴見区や横浜市の行政施策を十分に理解していることから、鶴見区が推進するスポーツ・健康づくり、地域協働施策に関する具体的かつ効果的な策を講じることができます。

### 所管部署との円滑な連携体制の構築

私たちは、スポーツセンターを所管していただく鶴見区地域振興課と、四半期ごとにヒアリングを行います。

ヒアリングでは、スポーツセンターの管理運営に関する進捗状況を共有し、円滑な運営をするとともに、地域振興課が携わる区民対象事業について、調整する機会として活用させていただきます。



運営状況を報告する定期ヒアリング

### 区民フェスティバルへの参加によるスポーツ振興

私たちは、鶴見区民フェスティバルにおいて、スポーツセンターの事業PRを行うことにより、スポーツや健康づくりの必要性を訴えていきます。

#### ■第2期指定管理期間に協力している区民フェスティバル

三ツ池公園文化・環境フェスティバル 会場:三ツ池公園	・鶴見区スポーツ推進委員連絡協議会のグラウンドゴルフ体験運営協力 ・スポーツセンターのPR活動
鶴見川サマーフェスティバル 会場:佃野公園	・スポーツセンターのPR活動(毎年うちわを配布) ・スポーツセンター周辺の交通整理 ・スポーツセンターのトイレを利用提供
つるみ臨海フェスティバル 会場:入船公園	・体力測定、ストレッチ体操の紹介(中央ステージ) ・スポーツセンター事業PR



三ツ池公園フェスティバル



鶴見川サマーフェスティバル



つるみ臨海フェスティバル



## オ お客様・近隣住民・事業所との意見交換

### オープンミーティングの開催【再掲】

鶴見スポーツセンターでは、団体利用・個人利用・教室に参加しているお客様、近隣自治会や町内会などの地域の方々、区体育協会、スポーツ推進委員などのスポーツに関わる団体の方々にお集まりいただき、オープンミーティングを開催します。

当館の運営に関して様々なご意見・ご要望を伺うことで、指定管理者としてお客様の立場に立ち、地域に根ざした管理運営に努めます。

### 「鶴見区新年賀詞交換会」での情報交換

毎年1月に、自治会、町内会や区内の主だった地域団体の方々の交流を目的として、「鶴見区新年賀詞交換会」が実施されています。所長が賀詞交換会に出席し、自治会、町内会や地域団体の方々と積極的に情報交換を行います。



鶴見区賀詞交換会

### 区民利用施設との協働

鶴見区では年に2～3回、「区民利用施設長会議」が開催されています。区内の区民利用施設からの事業紹介や事故事例などを情報共有することで、鶴見スポーツセンターの事業や管理運営に活かすとともに、区全体の地域力の向上に繋がります。

### 市場地区第二自治連合会会合に出席

鶴見スポーツセンターが所在する市場第二地区は、子育て世代の転入が増え、未就学児の増加率が区内で1位となりました。高齢者世代も実数では増加しています。高齢者、子どもを取り巻く地域のネットワークがますます重要となり、地域の支え合い・助け合いや幅広い世代の交流の取組を進めています。そこで、私たちは第3期指定管理において、市場地区第二自治連合会の会合に出席します。

鶴見スポーツセンターに対するご要望やご意見を伺ったり、情報提供を行ったりするなど、近隣地域とのコミュニケーションを図ります。

## カ 地域住民の方や地元企業のご協力

私たちは、鶴見スポーツセンターの管理運営において、これまで地域の方や商店、団体から人的支援、物的支援をいただく場面がありました。

第3期指定管理においても、ボランティアや各種ご支援をいただけるよう、鶴見スポーツセンターが地域の方に親しまれるよう地域の方との信頼関係を築いていきます。



地域から頂戴する四季折々の植物を展示しています

### ご協力いただいた方へ感謝状を贈ります

鶴見スポーツセンターをサポートしていただいたボランティアの方々へ、所長から感謝状や礼状の付与、記念品の贈呈などを行い、貴重な善意への感謝を伝えます。

### (3) 地域貢献に対する取組

「横浜市地域の絆をはぐくみ、地域で支え合う社会の構築を促進する条例」に則り、私たちは、地域活動に参加するとともに、区が実施する地域活動を促進するための施策に協力をします。また、地域の活性化・発展のための社会的活動や地元雇用など、地域の公共益に資する活動に取り組めます。

#### ア 収益を鶴見区のスポーツ振興に充当します！

鶴見スポーツセンターの管理運営を通して、予算を超える収益が得られた場合は、その一部を区民向け無料還元イベント、区体育協会への協賛など、鶴見区のスポーツ振興をはじめ、子育て・高齢者支援などの財源に充当します。

#### (ア) スポーツ・レクリエーションフェスティバルの実施【再掲】

子どもから高齢者、障がい児・者を対象とした体験教室や、日頃から当館をご利用いただいているお客様が、日々の練習の成果を披露できる発表会を実施するなど、区民向けの還元イベント(無料)を開催します。

実施にあたっては、地域の方々、区体育協会、さわやかスポーツ普及委員会、総合型地域スポーツクラブ、区内関連団体等と協働して行います。



スポーツ・レクリエーションフェスティバル 2014

#### (イ) 開館 30 周年記念事業の実施

鶴見スポーツセンターは、2019 年に開館 30 周年を迎えます。日頃からご利用いただいているお客様をはじめ、地元自治会、町内会、地域で共に活動する団体の皆様、行政関係の方など、支えていただいた多くの方々への感謝の気持ちを込めた「開館 30 周年記念事業」を実施します。

### イ 地域の事業者としての取組

#### (ア) 地元住民の方の雇用

私たちは、清掃、受付、事務補助を行うスタッフを、鶴見区の住民から採用します。また、区体育協会に加盟する種目団体の方々や、鶴見区在住のインストラクターを積極的に教室講師として登用することで、地域に根ざした親しみのある施設づくりを行います。

平成 26 年度  
職員・スタッフ

鶴見区民 20 人 / 23 人中  
全員が鶴見区に詳しいコンシェルジュ人材です



鶴見区のことならお任せください！

#### (イ) 地域活動への参加

鶴見スポーツセンターでは、職員が地域での清掃活動や福祉活動に協力する等、積極的に地域活動に参画します。鶴見スポーツセンターの職員は、地域でのボランティア

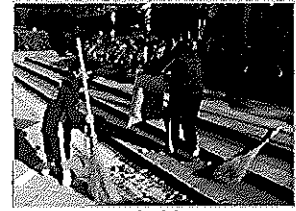
ア活動に積極的に参加します。

### ■鶴見スポーツセンター職員のボランティア活動実績

小学校PTA本部役員、小学校PTA役員、中学校PTA役員、高等学校PTA役員、鶴見川清掃ボランティア、地域の子どもに珠算指導、シティウォークスタッフ、東日本大震災復興支援活動、横浜マラソンスタッフ、子ども会保護者ボランティア、ジュニアヨットクラブ世話役、子ども会本部役員、バドミントン指導、パーキンソン友の会体操指導、保育ボランティア、保育園保護者会運営委員、視覚障がい者ハイキング旅行引率、野外活動ボランティア、障がい児保護者支援、高齢者お弁当配達ボランティア、小学校おやじの会、小学校読み聞かせボランティア、手話ノートテイクボランティア、点字作成ボランティア、サルビアホールサポーター、区バレーボール協会理事

### ■ 植木の手入れや樹木管理を通じて地域から愛着の持たれる施設づくり

美観を損なうことのないように、日ごろから外構管理を徹底して行います。特に、敷地外歩道の街路樹の落ち葉などが施設周囲の排水溝に詰まらないよう、周辺道路を含めて毎日の清掃を欠かさず行うようにし、地域の方々から愛着を持たれる施設環境づくりを行います。



日常清掃

### ■ (ウ) 職業体験・インターンシップの受け入れ協力

拡充

鶴見区全中学校の職業体験を受け入れます。また、インターンシップ、小学生の社会科見学、大学や体育専門学校等からの教育実習生の受け入れにも協力します。



中学校職業体験

#### 受け入れ実績(平成23年度～26年度)

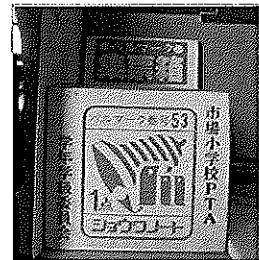
末吉中学校、市場中学校、寛政中学校、潮田中学校、矢向中学校、上の宮中学校、市立教員(リーダーシップ研修)、横浜YMCA専門学校

### ■ (エ) 地域のためのチャリティ活動

地元の事業者として、地域のための寄付・協賛などの金銭的なチャリティ活動に積極的に取り組みます。

### ■ ベルマーク運動の推進

小中学校などの教育施設、福祉施設の設備の助成を目的としたベルマーク運動を推進するため、施設における購入物品のベルマークを収集します。また、お客様にも周知・PRして収集にご協力いただき、集まったベルマークは近隣の小中学校に寄付します。



ベルマーク収集の協力

### ■ 赤い羽根共同募金への協力

受付に共同募金箱を設置し、お客様にも募金にご協力いただきます。収集した募金は、「神奈川県共同募金会」に寄付します。第3期指定管理においても、地域福祉活動に積極的に協力します。



共同募金への協力

## 使用済切手収集で国際貢献

教室申込時に使用された使用済みの切手を集めて、アジア・アフリカの医療援助団体である「社団法人日本キリスト教海外医療協力会」へ送付することで、ワクチンの提供など、現地での医療活動に貢献します。使用済み切手の収集については、お客様や区民の方々にも周知し、ご協力いただきます。



切手を提供していただきました

## 視覚障がい児・者と盲導犬を応援

鶴見スポーツセンター内にラブドール募金箱を設置することで、視覚障がい児・者の支援活動や盲導犬の啓発活動を推進します。

また、当館のホームページに「公益財団法人日本盲導犬協会」へのリンクを設定することで、併せて啓発活動に貢献します。

## ウ 地元教育機関や商工団体等との連携

### (ア) 地元商店街等との連携

新規

「横浜市商店街活性化に関する条例」に基づき、市が定めた商店街の活性化に関する施策に協力します。

商店街が地域のにぎわいと交流の場となるよう、区役所、商店街連合会、商工会議所等とウォーキングマップの作成やポイント制度の導入、販売協力など、共同利用促進策に取り組み、商店街の活性化に貢献します。

また、商店街チラシの館内掲示やホームページへの商店街情報の掲載など、商店街の活動を積極的にPRします。



つくの商店街イベントでの出展

### (イ) 鶴見川クリーンアップの取組

第3期指定管理期間に鶴見川サマーフェスティバル後の清掃活動を、スポーツセンター近隣の商業施設に呼びかけて実施します。「きれいな街つるみ」の実現のために、清掃活動をきっかけとした商業施設との協力関係を構築し、「安心のまちづくり」につなげます。



スポーツセンター近隣施設  
「RAKU SPA」

## 鶴見川クリーンアップ！子ども向け啓発イベントの開催

ジュニア体操教室の参加者や近隣の小学校の子ども達と、年に3回、鶴見川流域学習、鶴見川流域の散策路のゴミ拾いと鶴見川漕艇場でのカヌー体験を行う「鶴見川クリーンアップ教室」を開催します。流域視野の文化・教育・まちづくり関連活動への取り組みを進めていきます。



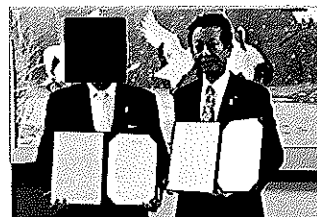
子ども・エコ&理科教室



## （ウ）日本体育大学との事業協定の締結【再掲】

当体育協会は、日本体育大学と社会貢献推進事業に関する協定を結んでおり、互いの資源を有効に活用することで、地域住民の健康の維持増進、活力ある地域社会の実現を目指しています。

鶴見区内で開催する市民対象講座や実技指導の講師、体力測定の実施、スポーツイベントの運営補助など、各種事業を通じて連携し、鶴見区内におけるスポーツの普及・振興を推進します。



学校法人日本体育大  
と公益財団法人横浜市  
体育協会山口宏会長

## エ 障がい児・者等の社会活動の促進

### （ア）障がい児・者が作成した作品等の販売協力

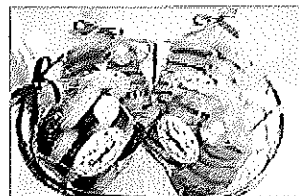
区内の障がい児・者地域作業所や中途障害者地域活動センターなどと連携して、鶴見スポーツセンター内での作品展示やパネル展示、パンやクッキー等の販売協力を行います。



鶴見区障害児者団体連絡会  
による作品販売

### （イ）障がい児・者団体や事業所からの優先的調達

「障害者優先調達推進法」や「横浜市における障害者就労施設からの物品等の調達方針」に則り、鶴見スポーツセンターでは、障がい者の経済面の自立を進めるため、福祉団体や障がい者の就労施設から、優先的・積極的に物品等を購入します。



イベント景品用に調達したクッキー

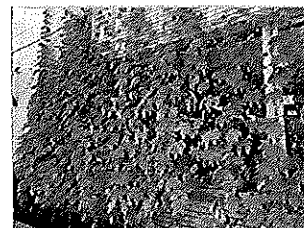
## オ 環境保全活動への取組

平成 27 年度鶴見区区政運営方針では、「安心・ぬくもり・活力」のある鶴見区の実現を目指して、区の個性と魅力を生かした環境に優しいまちづくりを推進しています。

当体育協会は、鶴見区の施策に貢献するため、区民、団体、他の事業者と連携して、環境保全活動に積極的に取り組みます。

### （ア）緑を増やす「緑化事業」の推進

鶴見スポーツセンターでは、キッズルーム前の窓に面して緑のカーテンを作ることで、夏の陽射しが強い時期の室温上昇を防ぎます。また、正面玄関付近やエントランスに花を植えるなど、敷地内の緑を増やしていきます。



緑のカーテン

### (イ) ペットボトルキャップ回収によるワクチン募金

世界の子どもたちへワクチン支援するため、お客様とともにペットボトルキャップ募金に取り組みます。回収箱を自動販売機横に置き、お客様に回収を呼びかけます。集まったキャップを売却した売上は、ワクチン購入資金として全額寄付します。



エコキャップを近隣の方からいただきました！

### (ウ) 「はまっ子どうし The Water」で環境保全と国際貢献

横浜市水道局では、横浜市の水源林である山梨県道志村の清流水をつめた「はまっ子どうし The Water」の売上の一部を「道志水源林ボランティア事業」や JICA（独立行政法人国際協力機構）に寄付しています。この活動に賛同し、自動販売機にて「はまっ子どうし The Water」を販売します。



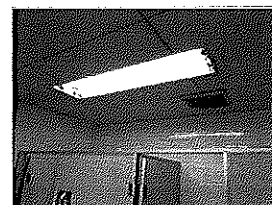
はまっ子どうし The Water  
自販機販売

### (エ) 「もったいない運動」の推進 新規

横浜市では、G30プランにつづく「ヨコハマ3R夢（スリム）プラン」において、分別・リサイクルのみならず、環境に最もやさしいリデュース（発生抑制）の取組を進めています。鶴見スポーツセンターでは、お客様の使わなくなったスポーツ用品を他の方に譲り渡す「もったいない運動」を推進することで、ゴミを削減し、脱温暖化の推進、環境負荷の低減に貢献します。

### (オ) 低炭素社会の実現に向けた取組 拡充

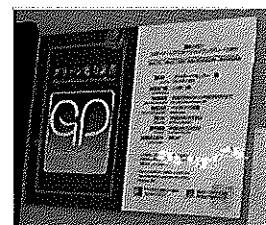
環境省では、地球温暖化対策のため、豊かな低炭素社会づくりに向けた知恵や技術を共有し発信する、気候変動キャンペーン「Fun to Share」を実施しています。当体育協会は、この取組に賛同し、「COOL BIZ」や「LED 照明の導入」などの低炭素アクションに取り組みます。



トイレにLEDを採用

### (カ) カーボンオフセットの推進 拡充

鶴見スポーツセンターの運営によって排出される、温室効果ガスの排出量に見合った削減活動を行うとともに、風力、太陽光、バイオマス、マイクロ水力、地熱など、自然エネルギーから生まれたグリーン電力を購入するなど、カーボンオフセットの取組を推進します。



グリーン電力証書

### (キ) 新電力導入の推進 新規

当体育協会が管理運営する、施設で使用している電力について、原子力発電に頼らず、自然エネルギーや民間の余剰電力を購入し、販売している特定規模電気事業者（PPS）を入札事業者として指名することで、自ら省電力、省エネルギーに取り組みます。